

第5節 産業振興課

〔総括概要〕

今日の農業は、農業者の高齢化の進行、後継者不足による農家数の減少とともに、食料自給率の低迷、耕作放棄地の拡大、農村の活力の低下など、農業を取巻く環境は非常に厳しい状況が続いている。そのため農業振興においては、栃木市農業再生協議会や藤岡町農業公社と連携し、土地利用型農業の推進と園芸作物の生産振興、担い手不足や耕作放棄地対策を行った。また、産業祭の開催により生産者と消費者の交流や県と連携した農産物安全安心PRを行った。

林業は、地域の里山林の整備のため、県民税事業による藪の刈払いや、不用木の処分を行った。

農業農村整備については、農業基盤整備促進事業をはじめ、県単独農業農村整備事業や市単独土地改良事業等により、土地改良区が行う農業用施設の維持管理事業を支援しそれらの適正管理に努めた。多面的機能事業では継続の4地区に加え新たに1地区が活動に取り組み、地域の環境保全や施設の維持管理に地域住民が一丸となって取り組んだ。

また、農地、農業用施設及び住宅の湛水被害を防止するために、藤岡地域内4か所の排水機場維持管理事業を実施したほか、西前原排水機場の維持管理及び運転を行った。

なお、平成27年9月関東・東北豪雨においては、西前原排水機場が浸水・漏電により機能停止したほか、藤岡地域の各所において農地、農業施設及び機械が浸水し甚大な被害が発生したため、被災農家の営農継続・再開に向けて、災害復旧工事補助や被災農業者向け経営体育成支援事業等に取り組み支援を行った。

道の駅みかもについては、平成27年度から指定管理者制度を導入し、指定管理者による管理運営により、農産物の高付加価値化と消費拡大による地域農業の所得向上を図り、かつ地域内の女性・高齢者の活躍の場を設け、都市と地域の住民が集い交わることにより、地域全体の活性化を図った。

商業関係については、中心市街地の空洞化や商業経営の低迷が大きな問題となっていることから、藤岡町商工会へ育成事業補助金を交付した。

観光関係については、恵まれた自然環境と豊かな観光資源を有効に活用し、各種宣伝事業をはじめ、「第21回藤岡さくらまつり」、「渡良瀬バルーンレース2015」などのまつり・イベントの開催に積極的に取り組んだ。

また、渡良瀬遊水地のシンボル谷中湖をイメージしたハート型熱気球「ハートランド号」を使い、市内外のイベントに積極的に参加して栃木市のPRを行った。

更に、栃木県栃木市、群馬県板倉町、埼玉県加須市の三県境は、以前は旧渡良瀬川の中にあっただが、渡良瀬川の河川改修により全国でも珍しい平地で歩いて行ける場所となり、近年注目のスポットとして話題を呼んでいることから、2市1町共同で曖昧であった三県境の測量を行い、県境を確認した。今後は、共有の新たな地域資源として利活用し地域振興及び観光振興に取り組んでいく。

農林振興担当

1 経営所得安定対策

食料自給率の向上を図るとともに、農業の有する多面的機能が将来にわたって適切かつ十分に発揮されるようにする必要があるため、経営所得安定対策の推進により、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、地域農業の活性化を図った。

(1) 米の直接支払交付金

米の需給均衡と価格の安定を目的として、栃木市農業再生協議会藤岡地区担当と連携し、農業者及び農業者団体と一体となった生産調整推進の取組を行った。

・水稲生産数量及び面積

対象農業者数	1,593人
水稲生産実施計画書提出農業者数	782人
水稲生産数量	4,348,785kg
水稲作付面積(①)	9,635,997㎡
主食用水稲作付面積(②)	5,668,325㎡
非主食用水稲作付面積(①-②)	3,967,672㎡
水稲作付面積に対する 主食用水稲作付面積の割合(②÷①)	58.8%

(2) 水田活用の直接支払交付金

・戦略作物等交付対象面積 (単位：㎡)

二条大麦	3,771,960
六条大麦	110,617
小麦	1,466,611
大豆	561,176
そば	970
飼料作物	272,005
新規需要米	3,741,978
加工用米	165,953
備蓄米	59,741

(3) 農政協力員等会議

経営所得安定対策及び関連対策の円滑な推進と農業者への情報提供を図るため、栃木市農業再生協議会藤岡地区担当との連携により、農政協力員や水田農業推進員の会議を開催した。

・農政協力員等会議の開催状況

開催日	参加者数(人)
5月14日(木)	51
6月18日(木)	53
2月25日(木)	67

2 農業経営基盤強化促進事業

栃木市担い手育成総合支援協議会において、認定意向のある農業者に対する認定農業者制度の説明や、経営改善に関する個人指導会の開催、担い手に対する施策や研修等の情報提供などを実施した。

- ・農業経営改善計画認定者数 108人

3 農業団体育成事業

本市農業の振興と地域社会の発展に寄与することを目的に、各種農業団体の指導、育成及び支援を行った。

(1) 栃木市認定農業者協議会藤岡支部

相互連携を図り、効率的で安定した魅力ある農業経営、自らの経営改善の実践と藤岡地域の農業振興のために活動を行った。

5月28日(木) 定期総会

11月7日(土) 講習会「6次産業化を考える」

(2) 栃木市農村生活研究グループ協議会藤岡地域

農村女性の社会参画による、輝く農村女性育成及び農業農村の活性化を図るため研修会及び講習会を行った。

(3) 栃木市畜産協議会藤岡支部

畜産農家が連携し、家畜伝染病の疾病による損耗を防止し、畜産経営の安定を図るため石灰の配付等を行った。

(4) 生産出荷組合補助金

地域内9の生産出荷組合の振興を図るため、運営に対して助成を行った。

- ・補助額 59,000円

4 藤岡町農業公社補助金

優良農地確保及び担い手育成等、一般財団法人藤岡町農業公社の円滑な事業実施のため人件費及び運営管理に対して助成を行った。

- ・補助額 10,440,000円

5 ふじおか産業祭事業

地域の農商工が連携し、地域の活性化と振興に寄与することを目的としたふじおか産業祭を開催した。

・実施日 11月21日(土)午前9時～午後3時

・会場 藤岡総合体育館・藤岡遊水池会館駐車場

・来場者 8,500人

6 藤岡農産加工センター管理運営事業

地産地消、農村の活性化、担い手の育成等を図るとともに、多くの市民の方々に地元の農業に関心を持っていただくための農産加工所は、主に地元の農産物を使用した味噌

づくり等に利用された。

・利用状況

施設名	利用日数（日）	利用人数（人）
藤岡農産加工センター	64	459

7 わたらせふれあい農園管理運営事業

農園を低料金で貸出し、自然とふれあいながら農作業を行うことにより野菜に対する消費者の目を養い農業を知る機会を提供する農園の運営を行った。

- ・利用者数 20人
- ・貸出区画 42区画

8 とちぎの元気な森づくり推進交付金事業

平成20年度から元気な森づくり推進市町村交付金事業に取り組み、荒廃した里山の整備を実施している。

・事業概要

事業名	実施箇所	事業量	事業概要及び事業費	備考
通学路や住宅周辺の安心・安全確保のための里山林整備	藤岡町大田和及び都賀地内	2.0ha	藪化した里山林の刈払い等により野生獣が人里に近づきにくい環境を整備 事業費：99千円	事業主体：市

9 有害鳥獣対策事業

有害鳥獣による農作物被害や生活環境被害等を防止するため、地元猟友会の協力を得て、捕獲罠設置等を実施した。

実施区域	実施期間	対象鳥獣
藤岡地域全域	4月1日（水）～3月31日（木）	イノシシ

10 農業委員会関係

農業委員会事務の円滑な推進と併せて地域農業者への利便を図るため、証明発行等の事務を行った。

（単位：件）

件名	件数
耕作証明書	35
農家証明書	5
農家基本台帳の写し	11
耕作（農作業受委託）証明書	2
合計	53

11 土地改良事業補助金

農業生産性の維持向上のため農業生産基盤整備に係る事業を行う土地改良区に対し

支援をした。

(単位：円)

事業名	土地改良区（箇所） 工事内容	事業費	補助額
県単独農業農村整備事業	思川西部土地改良区（新波地区） U型用水路布設替え L=300m	6,500,000	3,575,000 (うち市負担額 1,300,000)
農業基盤整備促進事業	藤岡土地改良区（藤岡[2]地区） ・揚水機工 1箇所 ・設計費 1式	5,868,000	586,800
	藤岡土地改良区（藤岡[3]地区） ・揚水機工 1箇所 ・用水路工 L=498m ・設計費 1式	18,410,000	1,841,000
市単独土地改良事業（かんがい排水）	藤岡土地改良区（部屋南部地区） 揚水機場モーター交換工事 1式	918,000	183,000
	藤岡土地改良区（第一地区） 揚水機運転確認用パトライト取付 新規2箇所、既設1箇所	90,180	18,000
	藤岡土地改良区（第一地区） 揚水ポンプ取替 1箇所	583,200	116,000
	繁桂寺谷津水利組合（新町） 配水管仕切弁設置工事 75mm 1基	129,800	25,000
	繁桂寺谷津水利組合（新町） 配水管修繕工事 75mm 1箇所	159,170	31,000
	藤岡土地改良区（巴波川西部地区） 吐出管改修 1箇所	186,840	37,000
	藤岡土地改良区（巴波川西部地区） 揚水管増設 φ125×2.75m 8本	432,000	86,000

12 農道維持管理事業

(単位：円)

工事名	工事箇所	工事内容	工事費
農道維持補修工事	富吉	敷砂利工 L=150m W=1.9	291,600
	藤岡	敷砂利工 L=95m W=2.3m	259,200

13 多面的機能支払交付金事業

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、それを支える地域活動、農業生産活動の継続、自然環境の保全に資する農業生産活動への支援として、活動費の一

部を負担金として活動組織に支出した。

※市負担額は、基礎支援の合算額の25%

・農地維持支払

(単位：円)

活動組織名	協定期間			基礎支援				市負担額 (円)
	締結年度	終了年度	交付期間	田 (3,000円/10a)		畑 (2,000円/10a)		
				面積(a)	金額(円)	面積(a)	金額(円)	
水と緑の里みどりかわ	H24	H30	7年	4,341	1,302,300	227	45,400	336,925
保全管理新井の郷	H26	H30	5年	1,859	557,700	260	52,000	152,425
戸崎農地保全組合	H26	H30	5年	3,407	1,022,100	262	52,400	268,625
部屋南部美しの郷づくり協議会	H26	H30	5年	12,390	3,717,000	101	20,200	934,300
あかまの郷	H27	H31	5年	2,324	697,200	105	21,000	179,550

・資源向上支払(共同活動)

(単位：円)

活動組織名	協定期間			基礎支援				市負担額 (円)
	締結年度	終了年度	交付期間	田 (1,800円/10a)		畑 (1,080円/10a)		
				面積(a)	金額(円)	面積(a)	金額(円)	
水と緑の里みどりかわ	H24	H30	7年	4,341	781,380	227	24,516	201,474
部屋南部美しの郷づくり協議会	H26	H30	5年	12,390	2,230,200	101	10,908	560,277

14 藤岡排水機場維持管理補助金

土地改良事業により整備された排水機場について、効率的運営により地域内における生活の安全安心並びに農業生産の維持及び増進を図るため、維持管理に要する経費の一部を補助金として交付した。

・対象地区 藤岡土地改良区(部屋南部地区、巴波川西部地区、新井地区、東谷津地区)

・補助額 1,930,397円

15 排水機場維持管理負担金

農業用施設及び住宅の湛水被害を防ぐため、土地改良事業により整備された排水機場の維持管理に要する経費の一部を、負担金として関係市町等に支出した。

(単位：円)

支出先市町等	対 象 施 設	負担金
小山市	与良川水系排水機場	3,552,000
佐野市	界排水機場	250,379
板倉町	邑楽東部第一排水機場	127,000
渡良瀬川中央地区 水管理施設管理協議会	渡良瀬川中央地区水管理施設	45,600

16 西前原湛水防除事業

栃木市の農地、農業用施設及び住宅の湛水被害を防止し、農業経営の安定を図るため、西前原排水機場の維持管理及び運転を行った。

- ・ 運転回数 2回 (3日間)
- ・ ポンプ稼働時間 41時間10分
- ・ 事業費 6,578,504円

17 道の駅みかも管理運営事業

(1) 売上等実績

売店名	客 数 (人)	売上額 (円)
農産物直売室	333,319	213,671,045
物産館		167,493,734
農産物加工販売室「ジェラート工房」	45,512	16,563,323
地域食材供給室「レストランみかも」	75,673	55,694,530
合 計	454,504	453,422,632

(2) 主なイベント

イベント名	開 催 日
リニューアルオープンイベント	4月 5日 (日)・4月19日 (日)
G Wイベント	4月29日 (水)～5月6日 (水)
七夕飾り	6月29日 (月)～7月7日 (火)
敬老の日イベント(家族の絵展示)	9月21日 (月)
オールタイムランみかも 2015	10月18日 (日)
初売りイベント	1月 1日 (金)～3日 (日)

(3) 視察の受入：9団体

団 体 名	視 察 日	視 察 目 的
藤岡小学校 3年生	5月12日 (火)	施設見学
赤麻小学校 3年生	6月 3日 (水)	施設見学
部屋小学校 3年生	6月23日 (火)	施設見学
新潟県田上町産業振興課	6月30日 (火)	先進地視察
長野県佐久穂町議会	7月 9日 (木)	行政視察

長野県佐久市臼田地区区長会	10月19日（月）	先進地視察
一般財団法人エンジニアリング協会	11月 6日（金）	視察研修
足利市観光農業振興会	11月17日（火）	先進地視察
埼玉県松伏町	1月13日（水）	先進地視察

18 環境保全型農業直接支払交付金

環境保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者グループに、当該活動に必要な経費の一部を交付金として交付した。

事業名	実施箇所及び事業内容	交付額（円）
環境保全型農業直接支払交付金	藤岡町新波、赤麻、大前、藤岡 カバークロープ作付け 152a、 有機農業 330 a	385,600

商工観光担当

1 商業振興

商工団体の育成及び助成

藤岡町商工会に対し助成を行った。

（単位：円）

名 称	事業費	うち補助額	備考(目的等)
藤岡町商工会育成事業補助金	39,182,694	4,800,000	商工会事業助成

2 制度融資

経営安定関連保証（セーフティネット保証）認定状況

（中小企業信用保険法第2条第4項第1～8号）

保険法	適用事項	平成27年度	平成26年度	平成25年度
第1号	再生手続申立等関係	—	—	—
第2号	事業活動の制限関係	—	—	—
第3号	地域・業種関係	—	—	—
第4号	地域関係	—	—	—
第5号	業種関係	—	1	2
第6号	破綻金融機関関係	—	—	—
第7号	金融機関経営合理化関係	—	—	—
第8号	RCC譲渡関係	—	—	—
計		—	1	2

3 観光振興宣伝事業

藤岡地域は、四季折々の風景に富んだ広大な渡良瀬遊水地にあるウォータースポーツのメッカとして定着した谷中湖、万葉集に詠まれ自然景観に優れた三疊山を活用したみ

かも山公園、県内有数のサツマイモの産地など豊かな自然に恵まれている。

これらの観光資源を生かすために、観光パンフレット等を配布するとともに、各種観光キャンペーンを実施し、さらに、渡良瀬遊水地の自然の魅力を発見し紹介することを目的にフォトコンテストを行うなど、観光宣伝事業を積極的に展開し観光誘客に努めた。

(1) 広域観光推進事業

観光PRイベントへの参加

- ・実施日 9月20日(日) 第3回渡良瀬遊水地まつり inKAZO
- ・場 所 渡良瀬遊水地下宮グラウンド

4 観光行事推進事業

本市を県内外に宣伝し、産業と観光の振興を図るため、次の行事を実施した。

(1) 第21回藤岡さくらまつり

- ・実施日 4月4日(土)～5日(日)
- ・場 所 藤岡渡良瀬運動公園
- ・主 催 栃木市藤岡町観光協会
- ・後 援 栃木市、藤岡町商工会、下野農業協同組合ほか
- ・来場者数 16,500人

(2) 渡良瀬バルーンレース2015

- ・実施日 4月3日(金)～5日(日)
- ・場 所 藤岡渡良瀬運動公園
- ・主 催 渡良瀬バルーンレース実行委員会
- ・後 援 国土交通省、(財)日本航空協会、栃木県ほか
- ・来場者数 110,000人

(3) Eボートレース2015渡良瀬大会

- ・実施日 8月22日(土)
- ・場 所 谷中湖(北ブロック)
- ・主 催 Eボートレース渡良瀬大会実行委員会
- ・後 援 国土交通省ほか
- ・参加者 548人(48チーム)

(4) 第16回よさこい藤岡パレード

- ・実施日 11月15日(日)
- ・場 所 足利銀行藤岡支店～藤岡小学校校庭
- ・主 催 よさこい藤岡運営委員会
- ・後 援 栃木市、藤岡町商工会、下野農業協同組合、栃木市観光協会ほか
- ・参加者 683人(57団体)

(5) 第16回渡良瀬遊水地フォトコンテスト

- ・主 催 渡良瀬遊水地フォトコンテスト実行委員会
- ・後 援 下野新聞社ほか
- ・賛 助 (一社)関東地域づくり協会
- ・応募総数 227人(808点)

- ・入賞作品 最優秀賞1点、優秀賞2点、準優秀賞3点、入選8点、特別賞8点
佳作30点
- ・展示会場 渡良瀬遊水地湿地資料館ほか

5 熱気球観光振興事業

栃木市熱気球「ハートランド号」を利用して、イベントに参加し栃木市のPRを行うとともに、熱気球係留や熱気球教室を通じてスカイスポーツの普及啓発を図った。

イベント名	日時
佐久バルーンフェスティバル	5月 3日（日）
NHKあさいち撮影	6月10日（水）～11日（木）
渡良瀬遊水地フェスティバル	9月 6日（日）
一関・平泉バルーンフェスティバル	10月11日（日）～12日（月）
健康福祉・環境まつり	10月18日（日）
まるまるまるごとつがまつり	11月15日（日）
ふじおか産業祭	11月21日（土）
市民健康まつり	11月29日（日）
熱気球教室（静和小学校）	2月17日（水）

6 三県境整備事業

全国的に三県境は40数か所あり、その大半が山中や河川の中にある。栃木県栃木市、群馬県板倉町、埼玉県加須市の三県境は、平地で気軽に歩いて行ける場所として近年マスコミ等にも取り上げられ、注目のスポットとして話題を呼んでいる。

この場所は、旧渡良瀬川が流れていた場所であり、遊水地化により渡良瀬川の改修に伴って、埋め立てられ平地の三県境が誕生した。

県境はその後曖昧であったが、栃木市、板倉町、加須市2市1町の共同で測量業務を実施し境界を確認した。今後はこの地域の地域資源として、三県境を2市1町で広域的に連携し、渡良瀬遊水地誕生の歴史と併せ観光振興や地域振興に活用する。